

シグマ研究委員会  
63年度第1回運営委員会議事録(案)

日時 昭和63年4月22日(金) 13:30 - 17:00  
場所 幸ビル 第1306会議室  
出席者 中嶋(法政大)、楢山(東北大)、村田(NAIG)、中沢(東大)  
五十嵐、長谷川、水本(原研)  
幹事: 浅見、中川(原研)  
オブザーバー: 飯島(NAIG)、瑞慶覧(日立)、菊池(原研)

配布資料

1. 62年度第7回運営委員会議事録案
2. シグマ研究委員会62年度旅費使用実績
3. 核データ国際会議議長・副議長リスト及び会場図
4. Dr. Cheng(GA)との会合内容メモ
5. JENDL拡大編集グループ会合メモ
6. 62年度シグマ特別専門/研究委員会議題
7. 63年度会合開催予定
8. M. Salvatores 氏から五十嵐氏への手紙
9. A.B. Smith 氏から五十嵐氏への手紙
10. 五十嵐氏から A.B. Smith 氏への手紙
11. 原子力学会誌30周年記念特集記事(案)
12. 1988年核データ研究会開催要項(案)

議 事

1. 前回議事録確認

資料1により前回(3月22日)の議事録を確認した。

## 2. 事務局報告

1) 委員の異動について、浅見氏から次の通り報告があった。(敬称略)

<u>氏名</u>	<u>新所属、等</u>
菊池 康之	原研核データセンター
木村 逸郎	京大工学部
関 雄次	MAP I 炉心設計部
大沢 孝明	近大原子力研究所
桜井 淳	原研材料試験炉部計画課
原田吉之助	V I C
真木 紘一	原研那珂研へ出向

\*原田氏は、その後NEDACに移った。

シグマ委員を止める委員は次の通りである。

菅原 彬 (MAP I)

浅野 則雄 (住友重機)

吉田 弘幸 (原研) -----> 飯島 進 (原研) と交替

沼宮内 強雄 (原研) -----> 備後 一義 (原研) と交替

2) 62年度旅費使用実績について配布資料2により浅見氏より報告があった。

## 3. 医学用原子分子・原子核データ ad hoc 会合報告

飯島氏が、4月22日(金) 10:00 - 12:00 に開かれた標記会合の様子を次の通り報告した。

IAEAの岡本氏に出席してもらいIAEA主催の会合の話聞いた。その後、今後の計画について検討した。WGとしては、今年度6回程度の会合を持ち、15 MeV までの photo reaction や 20 MeV までの electron のデータファイルやデータブック作成をしたい。Ad hoc 委員会としては、核データ側との協力体制やテーマ、プライオリティー等を次回(6月第2金曜日)に議論し、運営委員会に報告する予定。

更に、中嶋氏と水本氏から補足説明があった。

#### 4. 核データ国際会議準備状況

五十嵐氏が配布資料3により、各セッションの議長、副議長及び会場のレイアウト等の説明をした。

#### 5. 欧米の特殊目的データファイルの状況

配布資料4により、E.T. Cheng 氏との話合いの様子を飯島氏が報告した。

#### 6. JENDL拡大編集グループ会合

3月24日に主要核データの評価者と積分テスト側とを含めて開いた標記会合について、浅見氏が配布資料5により報告した。JENDL-3Tの問題点を今後どう詰めて行くかについて、この会合では結論を出すには至らなかった。会合の後、飯島氏が、編集グループが中心になって、評価者側と積分テスト側の調整をするよう提案したことを報告した。

#### 7. 63年度本委員会開催準備

昨年の本委員会の議題（配布資料6）を参考にして、今年度の議題を検討した。その結果、基本的には昨年と同じでよいが以下の点を修正することにした。

##### ○原子力学会関係

30周年記念号の話（菊池）

##### ○特別講演

1) International Symposium on Fusion Neutronics Technology (ISFNT) について（関 泰（原研））

2) Specialists' Meeting on Preequilibrium Nuclear Reactions 出席報告（柴田 恵一（原研））

3) JENDL-3の現状（JENDL編集グループ）

本委員会は、7月8日（金）に開くこととした。

## 8. 63年度委員会会合計画

各WGリーダから提出された63年度会合予定数の表（配布資料7）を浅見氏が説明した。今年度使用できる旅費は61年度並であり、資料7の数はそれを大幅に上回っている。しかし、当面は、このまま様子を見ることとし、7月までの実績を見てその後の予定を決めることにした。また、事務局はこのことを各WGリーダに連絡することとした。

## 9. 核データ研究会準備

配布資料12を瑞慶覧氏が説明した。今後は研究会を12月中旬に開く方向で検討することとした。実行委員会は昨年と同じメンバーで構成することとし、早急に委員の依頼状を出すことにした。更に、実行委員会を開いて、研究会の案を作成し、次回の運営委員会に提出することとした。

## 10. JENDL、JEF、ENDFの協力について

配布資料8を五十嵐氏が説明した。Salvatores氏はこの手紙で、JENDL-3、JEF-2、ENDF/B-VIから最良のデータを集めたデータライブラリーを国際協力で作成することを提案している。五十嵐氏の説明の後、国際協力について議論を行った。国際協力については、諮問調整委員会で更に検討することにした。

## 11. 原子力学会30周年記念号について

原子力学会30周年記念号の特集記事執筆について、菊池氏が配布資料11を説明した。検討の結果、核物理・核データについては、「核データの評価活動」を五十嵐氏、「核データの測定」を楢山氏が執筆することとし、資料11に示されている各節の担当者から原稿の材料をもらうことにした。執筆要項については、菊池氏が早急に調べて連絡することにした。

## 12. その他

今回は、7月1日（金）東京で開くこととした。